

たかはぎし 議会だより

No. 104

2009年 8月5日 発行

発行 高萩市議会

発行責任者 議長 篠原新一郎

編集 高萩市議会だより

編集特別委員会

〒318-8511 茨城県高萩市本町1-100-1

電話(0293)23-5373



(シリーズ中学校)

松岡中学校

主 な 内 容

市政に対する一般質問……………	2
議案に対する質疑……………	7
討論……………	9
議案等審議結果……………	9
常任委員会報告……………	10

去る6月5日から18日までの14日間の日程で、第2回定例会が開かれ、市長から人事案件、平成21年度補正予算ほか提案され審議しました。

平成21年第2回定例会

去る5月26日、第2回臨時会が開かれ、市長から条例の一部改正、補正予算ほか提案され審議しました。

平成21年第2回臨時会

去る4月22日、第1回臨時会が開かれ、農業委員会委員の推薦についてほか審議しました。

平成21年第1回臨時会

八木陽子 議員

インフルエンザについて

質問 WHOや日本医学会では、この秋、再度新型インフルエンザの流行が起きるのではと懸念されており、流行が拡大すれば毒性が強く、致死率が上がるとも言われております。

高萩市として地域医療機関の対応は考えているのか。救急隊員の感染対策も含め、予防接種対策、タミフル等の治療薬の確保状況をお聞きます。

市民生活部長 医療機関の確保は、保健所が中心となって蔓延防止を図ることを目的に、指定医療機関及び公的医療機関に協力を要請しております。協力医療機関を公表しないのは、感染を疑われる人が直接受診することにより他の患者さんや医療従事者への2次感染を避けるためであり、県内では日立総合病院の他12の指定医療機関や37の協力医療機関で新型インフルエンザ患者の入院治療の病床を確保しております。また抗インフルエンザウイルス剤やタミフルの確保は県が事前に医師会、医薬品卸売業者と流通調整や備蓄の放出方法について協議し、安定供給の体制を整えており配送することになっております。

消防長 昨年12月から鳥インフルエンザ対策マニュアルを先行させて準備しております。

今般の豚インフルエンザ発生時には弾力的な運用をするべく指示したところです。救急隊員等の感染防止については、標準予防策と呼ばれる感染防止策をとっているため、新型インフルエンザを疑う現場においても冷静な対応ができると考えております。

質問 国からも経済危機対策として予算計上され、消防署、高萩市も対応マニュアルができているとのこととで安心しております。私たち一人ひとりの予防対策はもちろんです、市としてもパニックが起きないように早急にきめ細かな対応を考えておくべきだと思います。又インフルエンザの予防接種を受けている人は感染しても比較的軽微な症状と言われていると思います。今回は高校生からの感染拡大が指摘されております。もう一度インフルエンザ予防接種年齢を18歳まで見直すべきだと思いますがいかがでしょうか、お尋ねします。

その他の質問事項

○ 松岡地区公民館前の信号機設置について

公民館前の横断歩道上で接触事故が起き、早急の設置を望む

○ 女子中学生の防犯ブザー携帯について

寺岡七郎 議員

海水浴場の駐車場の

管理体制について

質問 海水浴場駐車場は高戸、有明と今度ビーチの前の前浜駐車場が出来ましたが、その取り扱いについては、高戸は無料、有明は有料、前浜の駐車場はどのように取り扱うのか。高萩市の管理下にある駐車場として一元化すべきではないか。

建設経済部長 有明の駐車場については、有料、前浜の駐車場については観光整備協力金として協力をいただくなど、検討しているところであり、高戸については有料化は難しいと考えております。

総務部長 有明の駐車場については、行財政健全化計画の中では、平成23年度に処分を予定しております。

質問 今の答弁を聞いて大変驚いているところですが、私は有明、高戸、前浜を一元化して管理すべしという考え方がありますが、一元化どころか、有明駐車場を処分する考えであるとは断じて認めるわけにはいきません。1シーズン1800台の車が利用している。他県まで行って、来てくださいと宣伝しているのにその受け入れのための駐車場を処分するとなれば、地域の生活環境は悪化してしまう。来たお客さんにも大変迷惑をかける。処分することによって財

政は多少は救われるかも知れないが、そのことによって市民の生活環境は破壊されてしまう。政治の基本は市民の生活を守ることであり、市民の生活を破壊してまで財政再建などあり得ない。改めて検討すべきである。

市長 議員のおっしゃることも一理あると思います。

安全安心という観点は当時入れておりませんでした。今のご指摘は全くもっともであります。次年度方向については検討させていただきます。また今年度は前浜駐車場は協力金をいただきます。

ごみ処理について

質問 市長は現地での建て替え及び炭化方式は正式に断念しました。私は理由はどうであれ正しい政治決断であると思います。しかし正しい政治決断だとすれば従来の政治判断は間違っていた事になるわけであり、断念に当たってどのような総括がなされたのか。

市長 北部衛生センターの一般廃棄物施設における範囲、量などの調査を基に今後も全体を合わせて安全に維持管理をしていくため、今後のごみ処理施設整備計画は学習センターの機能を持ち、分別や資源化を図るリサイクルセンターのみの整備と決定した。苦渋の選択であり、また非常に残念な決断をせざるを得ない事であったと考えております。

菊地正芳 議員

介護保険について

介護保険の被保険者が、福祉用具として、車いす・ポータブルトイレ・移動用リフト等の購入並びに、室内の段差解消などの住宅改修を行う際に、介護給付を受けることができるが、費用は償還払い方式となっている。このため、利用者は費用の全額を業者に支払った後、市へ支給申請し、おおむね3か月後に、自己負担額10%を差し引いた分の払い戻しを受けることになる。この様に、償還払いでは一時全額を立て替えなければならず、資金繰りから購入や改修が困難になる場合がある。そこで利用者の一時的な負担を軽減するため、一割負担で済む「受領委任払い方式」が出来ないか見解を伺う。

この、受領委任払いというのは、利用者が販売業者や施行業者に介護保険給付費の受領を委任した場合、費用の一割だけを支払い、残りの9割は市が事業者へ直接支払う方法で、利用者の経済的負担を軽減するため有効な手段である。

女性消防団の結成について

消防力の低下や、団員の減少をカバーするため、消防庁は平成16年2月、消防団の一層の充実・強化・活性化のため、地域との結びつきの強い女性の入団を促進する文書を各都

道府県に通達いたしました。平成20年10月現在では、茨城県内16市町村で271名の女性が入団している。導入理由は、災害時の活動以外においても、定員割れ、団員の高齢化・サラリーマン化に伴う補充や、消防団組織の活性化、及び防火啓発活動等の市民へのソフト面での対応などが挙げられている。女性・生活者の視点を生かした、より強力な消防力・防災力を持った地域を築くために、女性消防団の結成に取り組むべきであると思うが見解を伺う。

「被災者支援システム」について

について

阪神大震災の被災自治体である兵庫県・西宮市が、被災直後の混乱状況の中で、被災者を支援する為に、実際にシステムを使用し、更にこれに改良を加えた「被災者支援システム」を開発した。具体的には、被災者の安否確認、避難所・緊急物資・仮設住宅・遺族等で構成されている。被災者の氏名、住所などの基本情報をベースに、被災状況を書き加えていくことで、被災証明書の発行、仮設住宅への入居、義援金の交付など行政手続きをスムーズに進めることができる。災害発生時における、行政の素早い対応が復旧・復興には不可欠であり、こういった「システム」を普段から構築しておくことが重要である。「被災者支援システム」の導入について見解を伺う。

大森要二 議員

1点目に前浜海岸の利活用について
質問

民地と思われる所に茨城百景と刻まれた記念碑が建っており、墓地のわきであり、後ろには山を背負い、人目につかない場所に移設されているが、建設当時は海岸近くの美しい背景場所に建立されていたものと思われる。駐車場が整備された景観の良い所に移設されてはどうか。大変にすばらしい駐車場が整備され、現在利用がないと思われるが、駐車場の一部で良いから近隣の農家の方々による季節の野菜等の販売、月に一度か二度程度テント程度の施設で考えていただきたい。又駐車場及びトイレの管理なども地元ボランティア団体に委託できないか。

2点目の質問は土岳キャンプ場の利用者の状況。過去3年間をお知らせください。

3点目に松岡小学校改築工事について質問いたします。校舎内部は木材をふんだんに使用すると聞いておりますが、その状況について伺い致します。以上三点お願い致します。

建設経済部長

前浜海岸の利活用でございしますが、茨城百景の記念碑の件であります。昭和35年頃県が民地に建設された、その後、民間の開発により現在の所に設置された。移設に関しては、県、民有地権者の両者間の問題であると考えます。前浜

海岸の利活用につきましては、市民によりますビーチレクリエーション、スポーツとかイベント広場など一年を通じて憩いの場として利用計画をしております。駐車場の夜間の管理については地元警察、関係機関に巡回パトロール等の協力をお願いしていきたいと考えているところでございます。駐車場における野菜等の販売については、定められた法によりまして難しいと思われます。土岳キャンプ場の過去3年間の利用状況を申し上げます。平成18年度109名、19年度273名、20年度73名の利用となっております。

教育次長 松岡小学校校舎改築工事に当たりましてのコンセプトは、歴史を感じる、木材を生かす、自然との共生としております。内装材には木材や自然素材をふんだんに使用することとしております。

2回目の質問と要望

小学校の件ですが、木材について定義づけをしていただきたい。木材は人造で張り合わせた材料も木材です。自然と共存とありますので、天然木のこと、できるだけ地元材を使用して、自然界の風土に合っているものを使用し、子供達の健康に配慮したいと強く要望したい。また地元業者の下請けを優先に考え、自分たちの学校、地元の学校と子々孫々に誇れる建築物にしたいと願っております。

今川敏宏 議員

質問(内容の要旨を列記します)

1. 高萩市のグリーン・ニューディールについて

①緑のカーテン、クールアースデイの実績と今年度の取り組みについて
②太陽光発電等の新エネルギーへの期待と支援について

③公用車のエコカー化について

④公共地の緑化事業や緑地管理事業等への雇用創出について

2. 男女共同参画社会について

①5年前と比較して何がどう変わったのか。取り組みと実績、今後の課題と方向性について

②性別による特有の病気に対する異性者の理解と協力のために

3. リサイクル計画について

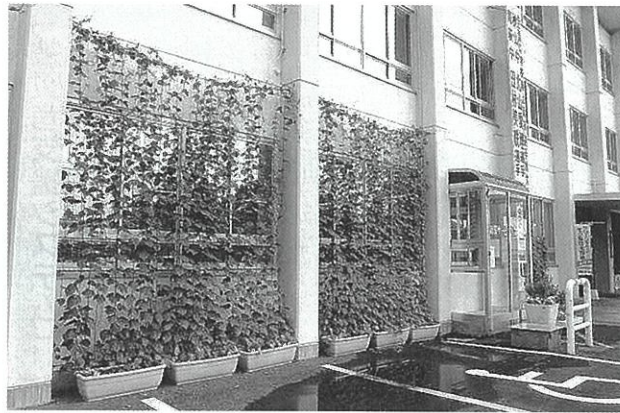
①ゴミという概念からの脱却こそ進むべき道(行政視察を踏まえて)

②リサイクル計画(ゴミ処理計画)の策定の現況について

市民生活部長 緑のカーテンは昨年

本庁舎で約3℃の低下が見られ、7月9月の合計で1万600キロワットアワーの電力量が削減された。この電力量は一般家庭1世帯当たりの約3年分に相当し、大きな効果があった。クールアースデイでは本庁舎と第2庁舎等でライトダウンを行った。今年度の取り組みとして、緑のカーテンは多くの公共施設で実施し、ホームページで公開する。また、市民の

皆様にも実施していただくよう、朝顔の種を配付し秋には緑のカーテンコンテストを計画している。クールアースデイについても夏の省エネキャンペーンの一環として実施する。



緑のカーテン

市長 ゴミに対する大変重要な視点

であると同感する。意識を変えていく手段としてよりよい方法である。今後の計画や施策に取り組んでいければと考えている。処理計画については、昨年9月に庁議構成員12名による高萩市ゴミ処理施設整備検討委員会を立ち上げ、県関係課との継続的な協議を行っているところであり、今後の方針決定のため慎重にあらゆる可能性の選択肢に対し鋭意努力してまいりたい。

平 正三 議員

地域経済の活性化について

質問 3月議会の一般質問で地域経済の活性化策として、住宅リフォーム助成制度を実施するように求めた

が、市長は住宅リフォーム助成制度が地域経済に対する波及効果について認めたが財政健全化計画に取り組み中であるため、新たな補助金制度をつくる気はないと答弁している。これは住宅リフォーム助成制度の必要を認めながらも金がないからやらないと言うことである。国の臨時経済対策交付金の活用策として住宅リフォーム助成制度についてどのように検討されたのか伺いたい。

市長 前回同様、困難である。

質問 自由に使える金が緊急経済対策臨時交付金など約1億7000万円ある。金がないのでなく地域経済を起こしていく考えがないのである。

質問 議会だよりは議会の要求により、市内業者4社で入札が行われ、市内業者が落札。非常にいい結果だと思う。

高萩市の「顔」である市報が何で市外業者を指名しなければならぬのか。市内業者を軽視している典型的あらわれであり、改めるべきである。

総務部長 今後、資格審査委員会の中で議論してまいりたい。

市報印刷入札結果

指名業者	第1回
日立アイシーシー	4,540,000
さくら印刷	入札辞退
成文堂印刷	入札辞退
藤枝印刷	2,963,400
笹沼プリント	入札辞退
いばらき印刷	2,418,888(落札)
日立高速印刷	入札辞退

インフルエンザ問題について

質問 インフルエンザ予防接種助成を平成20年度に16歳から18歳までを助成対象外としたことと平成21年度から肺炎球菌ワクチン接種助成を廃止した理由について伺いたい。

市民生活部長 インフルエンザ予防接種対象者の見直しを検討している。肺炎球菌ワクチンの知名度が低く、肺炎予防効果が浸透しにくく、県内で1自治体しか実施していないので取りやめた。

質問 廃止した根拠は、財政健全化計画による削減ではないか。秋には新型インフルエンザの流行が懸念されている。肺炎球菌ワクチンはインフルエンザや新型インフルエンザの重症化をおさえる効果があるといわれている。広報し、接種率をあげていくべきではないか。

その他の質問事項

○ 小学6年までの医療費無料化について

○ 駅前シンボルについて

田所和雄 議員

地域活性化臨時交付金の

積極的な活用について

質問 国会で歳出総額が過去最大の13兆9256億円となる平成21年度補正予算が成立しました。この補正予算は国の経済危機対策を具体化するための予算ですが、この中には、地域活性化のために地方に真水で交付される2兆4000億円もの臨時交付金が盛り込まれています。このうち高萩市には、地域活性化経済危機対策臨時交付金として、1億6800万円が配分されると聞いております。この交付金の獲得、積極的な活用への全庁的な取り組みについて、また、この交付金を高萩の活性化にどのように活用していく予定なのか、答弁願います。

市長 今回、国の経済危機対策においては、地方公共団体が国の施策と歩調を合わせ、地域活性化の事業を進められるよう、地域活性化公共投資臨時交付金と地域活性化経済危機対策臨時交付金が創設されました。2つの交付金を効率的に活用し、子育て支援、教育環境の充実や安全安心なまちづくり等の緊急性や必要性の高い事業を選択して、確実に行ってまいります。

総務部長 高萩市の交付限度額の見込みについては約1億6000万円

となっています。今回の補正予算第2号において、救急自動車機器整備事業、学校給食調理用設備整備事業等の4つの事業に、約6400万円を計上していますが、残額約1億円余の事業については、国と協議の上、公共投資臨時交付金事業と合わせて、今後9月の定例会以降に補正予算を計上していく予定です。

安良川浜野町踏切の

冠水対策について

質問 この踏切の西側の一帯は、雨天時には20センチも深さのある水たまりになります。通行量が多く、中学生の通学路でもあるこの踏切を不完全で危険な状態のままにしておくのは、安全安心なまちづくりを目指す市の方針に沿っているとは思えません。踏切の冠水対策の現況と今後の方向性について答弁願います。

建設経済部長 浜野町踏切部分の排水の現況は、線路の西側敷地に30センチのU字溝が設置され、その下流、茨城トヨタ付近において60センチの管渠でJR鉄道を横断し、東側で1メートルの管渠で花貫川に放流されています。この断面では一時的な強雨に対応しきれない状況にあります。

今後、排水路に堆積しております土砂等の撤去を定期的に行い、維持管理に努めるとともに、解決策を探ってまいりたいと考えております。

中井信行 議員

学校教育（学びの広場について）

質問 県教育委員会は、本年度から夏休み期間中、小学4年生全員を対象に四則計算などの基礎を身につけさせるための学びの広場サポートプランを実施しますが、どのような内容ですか。いわゆるゆとり教育の見直しの一環でしょうか、昨年度の全国学力テストで本県児童の算数、数学の正答率が全国平均を下回ったことがこの事業を行う理由となっているのでしょうか。私は国家一〇〇年の計を持つてするとされる教育行政が、次々と時間を経ることなく変わっていくことに不安を持っています。

教育長 夏休み中に最大5日間、1日2時間程度、担当と学びの広場サポートが四則計算の知識などを補充学習します。この事業の背景には、算数の基礎の理解が不十分であることが考えられます。これを通じて学びがきつかけを目指します。児童の出席は自由で強制しません。

介護認定について

質問 要介護認定の仕組みが4月から変わっています。今回の認定変更は、調査員の主観が入らない様にするなど、認知症関係を中心に認定が軽度化する可能性があると言われ、明らかに介護保険サービス後退につなが

るものです。寝たきりに近い人が介助なしと認定される可能性もあるとされていますが、実態はどのようなものになるのでしょうか。既に認定を受けている人については、4月以降も経過措置が適応されていますが期間は明確になっていません。

市民生活部長 従前の認定よりその症状が軽度に表示される可能性があるとの指摘から、厚生労働省で検証検討会を設け、現在検証を行っております。その為の経過措置として、希望によりこれまで通りの要介護サービスを受けることができる様になっています。新しい認定方法による実態は、まだ数値報告がありませんので現段階では答えられません。

市長 制度の見直しと共に、地域が抱える問題を国に上げ、利用者にとって使い勝手の良いものに育てていくことが大切だと思います。

生活保護について

質問 当市は生活保護率9・1人と県内三番目に多い数字です。長期低賃金社会が続ぎ、全く貯えのない層が来てしましました。実態はどうですか。その対応は適切ですか。

市民生活部長 生活保護の現状は、昨年一年間で相談延べ件数118件、保護開始ケース40世帯、いずれも前年度比で2倍となっています。生活困窮した方々の相談に真摯に対応しているところです。

大足光司 議員

21世紀高萩ビジョンについて

質問 厳しい環境の中で地方分権を推進し住民自治を実現していくためには「市民との協働」という視点に立ち行政課題に対応していくことが大事である。「21世紀高萩ビジョン」その取組みの中で、市民と行政の協働という視点はどのように示されているか。

市長 市民との協働についてプロジェクトチームの活動に合わせて関係団体や市民に協力を頂くなど、相互に連携し、主体的な取り組みが出来るよう努めている。これからのまちづくりには、市民と行政が相互に連携しながら、主体的に関わっていくことが非常に大事な視点であると思っている。

質問 市民が望むまちづくりを端的に言えば「住みやすいまち」である。「住みやすいまちの条件」を整理し取組むべき課題と目標設定を明確に示し、時代の潮流を見据えながら「まちのビジョン」を作っていくべきではないかと考える。このころの里シティづくりの推進について①基本的な理念は何か。②その中に示されたゾーンの取組むべき内容は③どのように取組んでいくのか。

市長 基本理念は時代を認識し豊かな心をはぐくむための仕組み、方向性、施策を提言したものである。暮

らしの里づくりでは、中心市街地とその周辺を対象に中心市街地活性化への取り組みを考えている。文化の里づくりは、松岡地区を拠点に松岡小学校改築や郷土の先人の検証など。里浜づくりは、高浜町から赤浜にのびる白砂青松の海岸部を対象に海水浴場の開設やハマギクの移植など。里山づくりは、花貫溪谷の観光振興事業等、山間地の振興策について調査を行いたいと考えている。これらの取り組みについては、庁内関係各課により組織したこのころの里シティプロジェクトチームと高萩市商工会を始め、観光協会、NPO法人里山文化ネットワーク、高萩市社会福祉協議会、シルバー人材センターなど、関係団体との連携を図りながら出来る所から一步一步進めていきたいと考えている。

質問 今回新たに加わった「次世代萩っ子の輩出」について、次世代萩っ子の輩出とはどのような取組みを行っていくのか。

市長 この自然豊かな環境の中で感性豊かで郷土愛と誇りを持ち将来、国内外で活躍出来るような子供達を排出していきたい。それが今回の萩っ子の大きなねらいである。庁内にプロジェクトチームを設置し、現在何が出来るか検証中である。今年度は幼稚園や保育園の保護者を対象に子育てに関わる講座を提供していきたい、その準備を進めている。

吉川道隆 議員

高萩市の教育について

質問 幼稚園の延長保育については、やってみてどうか？今後の指導は？

教育長 5月13日から実施し、ほとんどの保護者が利用している。午後の授業もそれぞれが創意工夫し、円滑に進んでいる。課題は保護者、園と話し合いながら進めていきたい。

質問 午後の延長時間に関して、非常勤、臨時、ボランティアでもどのような形でもいいから、通常の担任以外の先生を検討していただきたい。

教育長 職員の疲労度等を把握しながら検討したい。

質問 民間のクラブから以前から申し出のある、スイミング指導及び地元のサッカーチームによる指導は取り入れられないのか？

教育長 どの幼稚園で何を取り入れるのかは基本的には園長の判断。幼稚園、保護者の考え方を聞きながら研究していきたい。

質問 高萩市における学校の適正配置について、君田小中学校が対象校となり、地域の方の意見を十分聞いて慎重に進めるとあるが、今後の予定は？

教育長 まず将来を考える会から、地域にそのお話をしていただき、慎重に進めていきたい。

質問 県教育委員会の施策で、小学

4年生を対象に四則計算の基礎を学習する「学びの広場」が実施されることになった。市独自で他の学年、他の教科も取り組んでは？

教育長 放課後に基礎的事項の定着の時間を設けたり、夏季休業中に何日間か登校日を設けて補習、発展学習に取り組んでいる。4年生以外の学年も学習相談を行う予定。

質問 特別支援教育について、学習障害LDや多動性障害ADHDの子供たちに対する高萩市における教育体制はどうなっているのか？市で把握している発達性障害、学習障害の子が何人くらいいるのか？

教育長 平成20年度は小学校で55名、中学校で12名が通常学級にいて何らかの障害がある。各学校に特別支援教育コーディネーターがいて校内のどの先生も共通理解して指導に当たろう努めている。

質問 小学校の外国語指導、高萩市の実施状況は？

教育長 昨年度のうちに各学校の英語活動の担当予定者が集まり、指導計画を作成し本年度から実施。外国語指導助手と共に活動している。

質問 担任の英語力の格差をなくするため、東京都では、パソコンのソフトを使った英語の指導をしているそうだが、そういう検討はないのか？

教育長 担任やALTとの直接やりとりが中心となる。パソコン導入は要望として受け止める。

議案質疑

第1回臨時会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

報告第3号 専決処分の承認を求めることについて(高萩市国民健康保険税条例の一部改正について)

中井信行 議員

高萩市国民健康保険税条例の一部改正について、今回は介護納付金課税額の限度額を現行9万円を10万円とするものです。他には医療分47万円、後期高齢者支援分12万円です。それぞれ限度額が引き上げられていく制度が心配です。中間所得者層の軽減を図る措置としていますが、どの様なことですか。いずれにしても負担軽減を図るなら、低所得者層を一番の対象にしていた方がいいと思います。

市民生活部長 2月現在介護分の対象者が市全体で2975世帯あり、その中で改正前の9万円以上の世帯は326世帯で約11%を示しております。これは、上位所得者と考えられます。仮に9万2千円の税額だった人は、限度額が9万円のときは9万円納付すれば良かったものが、今回の改正では2千円多く負担しなければいけません。上位所得者が負担増となる分、結果的にそれ以下の中間所得者層負担軽減が考えられますが、それ以降の具体的解釈は国から示されていません。

第2回臨時会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

議案第32号 高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

今川敏宏 議員

今回の人事院勧告によるボーナスカットは、全国に先駆けて職員給与をカットしてきた高萩市の職員にとっては、生活にかなりの影響が出ると感じる。職員給与と削減の緩和策があれば説明いただきたい。

市長 緩和策については給与構造を改善していく考えである。また給与については決算を見て検討する。

議案第33号 平成21年度高萩市一般会計補正予算(第1号)

今川敏宏 議員

中央跨線橋の改修工事に関する予算だが、計画通りエレベーターが設置されるのか。

建設経済部長 本市の財政状況を鑑み先送りしたいと考えている。

第2回定例会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

報告第5号 平成20年度高萩市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

中井信行 議員

繰越明許が報告された松岡小学校改築に伴う埋蔵文化財調査の現状はどの様ですか。

教育次長 来年1月15日までの工期となります。今年6月で基本的な調査を終了し、報告書整理作業に入ります。結果や成果については、新校舎の郷土資料室などで展示します。現在陶磁器の破片とか、カワラ、古銭などが出土しています。

議案第35号 常磐線高萩駅構内中央線人道橋改修工事委託協定の変更について

平 正三 議員

高齢者、身障者に配慮したバリアフリー対策として東西にエレベーターを設置する計画で進めてきたが、この計画を先送りすることになったが、その理由について伺いたい。

建設経済部長 当初、事業費として1億円見込んでいたが、詳細設計業務等をJR東日本に委託して行ってきた結果、工事費約1億4000万円、設計委託費1700万円、合わせて約1億5700万円と事業費の大幅増額、通行利用者が平成13年の調査で約2500人あったのがイトーヨーカ堂の撤退などにより現在約1500人に減少、エレベーターの維持管理費に年間約330万円要することになった。

質問 先送りするならば、いつまでと明確にすべきである。

建設経済部長 現在の財政状況を踏まえると厳しいと受け止めている。

議案第36号 松岡小学校校舎改築工事請負契約の締結について

平 正三 議員

入札に参加したのは、鈴縫・日興共同企業体、株木・岡部共同企業体の二つであり、競争性が果たしているのか。

総務部長 一般競争入札で10数社見込んでいたが2社しかなかった。今後、よく精査していきたい。

吉川道隆 議員

今回の工事請負の契約について、読売新聞の茨城版に5月7日行われる松岡小学校の入札の件で、市や読売新聞社に談合や第三者の介入を疑う情報が寄せられたらしいが、具体的にその内容は？市は聞き取り調査をどのような形で行ったのか？

最初、入札参加資格申請が行われて、3社に対して参加資格を通知したのに、その後の点検で1社の資格に不備があることがわかって取り消したそうだが、不備があることについては通知をする前になぜ気がつかなかったのか？

総務部長 談合情報は4月9、21、30日、計3回、口頭で連絡があった。弁護士と県土木部監理課とに相談をした上で入札を行った。合わせて情報提供者より事情聴取、入札参加者に事情聴取し、具体的な談合の事実が確認できなかったため、JVの入札会社から誓約書をもらうことを条件に実施した。資格の不備は気づくのが遅かった。

中井信行 議員

松岡小改築工事については、この経済状況の中で地元業者が多く参加出来る本体、設備工事の分離発注をお願いしてきましたが、なぜ一括発注となったのですか。

総務部長 鈴縫・日興特定建設工事共同体が落札しました。工事の円滑を図るため一括発注としましたが、地元の業者が下請けとして参加出来る様配慮いたします。



議案第37号 平成21年度高萩市一般会計補正予算（第2号）

田所和雄 議員

農林水産業費の森林公園管理事務経費105万3000円について説明を求めます。

建設経済部長 今回の緊急雇用創出事業交付金を活用し、地域における新規雇用の創出を図るとともに、森林公園の樹木の剪定や下刈り、芝広場の除草などの維持管理をはじめ、高萩グリーンミュージアムの受付事務や館内の清掃管理などを行うものです。

質問 商工費の観光資源魅力アップ事業経費206万6000円について説明を求めます。

建設経済部長 緊急雇用創出事業補助金を活用し、解雇や継続雇用中止による離職を余儀なくされた方々を3名雇用し、本市の観光資源を活用したサービスの開発や提供を行うものです。具体的には、高萩市観光協会に依頼して、本市の観光資源の魅力を一層高めるため、調査、観光PR、案内所の設置、観光振興計画策定の4つの事業を計画しています。

夏の高萩海水浴場や秋の花貫溪谷の紅葉時には、アンケート調査等を行い、観光イベントの一層の魅力アップと観光地への新たな誘客を進めてまいります。

吉川道隆 議員

高萩中体育館改築工事について、設計のコンセプト、構想は？事業費の予算は？財源はどうするのか？

教育次長 コンセプトはこれから。規模的には今までと同程度の予定。予算は約3億6000万円。国庫補助で3分の1、できるだけ特定財源を使って市の負担を減らす。

今川敏宏 議員

森林公園管理事務経費の委託先と募集方法、どういう方を対象にするのか伺う。

建設経済部長 今後精査検討してまいりたい。

質問 観光資源魅力アップ事業は素人では無理ではないか。考えを伺う。

建設経済部長 観光協会を支援しながら取り組んでまいりたい。

質問 救急自動車機器整備事業の内容を伺う。

インフルエンザ対策経費について、予防用具等の消耗品の購入としているが、インフルエンザが高萩で流行せず使用されなかった場合、備品としての耐用年数はどうか。

消防長 寄贈された救急車は車だけでなく、救急車に装備される全てのものを機装する予算である。

総務部長 耐用年数は5年と聞いている。

菊地正芳 議員

100年に一度といわれている経済危機にあって、多くの方々が職を失い、大変に厳しい生活を強いられている。今回、こうした方々の為に、一時的ではあるが、雇用の緊急創出を図る事を目的として行われる事業が「ふるさと雇用再生事業」と「緊急雇用創出事業」である。

重要なことは、地域、地元の元氣回復のために、1人でも多くの方を雇用することだと思っております。

ふるさと雇用再生事業と緊急雇用創出事業の違いとは何か？

総務部長 ふるさと雇用は、安定的な雇用機会の創出、雇用の継続で基本的に1年以上の雇用で更新が可能である。緊急雇用は、臨時的、一時的なつなぎ就労機会であり6か月未満という事で更新はない。

質問 只今の答弁で、高齢者支援目的でシルバー人材センターに委託するとありました、この事業は失業者対策であり高齢者支援ではない、趣旨から外れると思う、センターがそうした方々を新たに雇用していくというのであれば別だが、今一度伺う。

総務部長 基本的には、緊急雇用という立場で進めて行きたい。

質問 失業者対策として、1人でも多くの方に仕事をして頂いて、再就職につながる様に支援すべきである、委託先に丸投げでは困る。

討 論

第2回臨時会に提案された議案に対して次の討論がされました。

議案第32号 高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

反対 討論

中井信行 議員

説明によると、当市の特殊事情による行財政健全化計画の給与調整措置削減と今回の人事院勧告による期末手当の特例措置は別として、期末手当の歳出減は、健全化計画にはなかったものです。ここは、人事院勧告を踏まえ柔軟な調整措置を図るべきです。この計算では職員一人当たり平均6万5000円の減額になります。既に不本意な状況を強いられているのに、さらに上乗せすることとは理解できませんし、意欲を欠くものです。国や本市の健全化計画の基になっているプライマリーバランスの考え方にも変化が生じています。国は新しい基準の導入と達成期間の延長を言い出しました。それは余りの財政再建至上主義運営で国民、市民の多くがそして社会が疲弊してしまったからです。今回の政府の補正

予算を見ても、景気回復を強く意識したものとなっています。本市も状況に柔軟に対応しなければいけません。今後節度ある財政計画見直しを示されることでしょう。単年度収支均衡は目標にはなるでしょうが、今の生活を著しく阻害してはいけません。かたくなで硬直した行財政健全化計画では、市民にも職員にも心が通じ合うはずはありません。

議員辞職勧告についての動議

第2回定例会の最終日に大森要二議員から、金沢典胤議員に対する辞職勧告についての動議が提出され、次の質疑がされました。

中井信行 議員

金沢議員が逮捕拘置されていることをもって議員辞職勧告は早計です。本人は罪状について否認しており、無罪を主張しております。冤罪などで社会的に大きな問題が示されていますがどうですか。

大森要二 議員 法律的なことを言っています。道義上のことです。

一般質問、議案質疑、討論及び応答の記事は、質問者自身が要約したものです。

第1回臨時会議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
	農業委員会委員の推薦について	3名推薦
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市市税条例の一部改正について）	原案承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市都市計画税条例の一部改正について）	原案承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（高萩市国民健康保険税条例の一部改正について）	原案承認

第2回臨時会議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
議案第32号	高萩市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第33号	平成21年度高萩市一般会計補正予算（第1号）	原案可決

第2回定例会議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
報告第4号	平成20年度高萩市一般会計予算継続費繰越計算書について	受 理
報告第5号	平成20年度高萩市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	受 理
議案第34号	高萩市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	原案同意
議案第35号	常磐線高萩駅構内中央こ線人道橋改修工事委託協定の変更について	原案可決
議案第36号	松岡小学校校舎改築工事請負契約の締結について	原案可決
議案第37号	平成21年度高萩市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第38号	平成21年度高萩市老人保健事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
意見書第3号	北朝鮮の核実験に抗議する意見書の提出について	原案決議
	金沢典胤議員に対する辞職勧告について	否 決

請願・陳情の審議結果（継続となったもの）

件 名	件 名
高萩市議会議員定数の削減に関する陳情	「気候保護法（仮称）」の制定を求める陳情書
高萩市議会議員の議員報酬及び期末手当削減に関する陳情	介護型療養病床廃止中止を求める陳情
	「保険でよりよい歯科医療」の実現を求める陳情
高萩市議会行政視察見直しに関する陳情	介護保険に関する陳情書

常任委員会行政視察報告

総務委員会

期 日 5月12日(火)～14日(木) 視察地 宮城県岩沼市、岩手県陸前高田市
調査事項 行財政改革について

岩沼市は、変化する行政経営資源と役割分担を課題に、平成17年度から21年度を目標に行財政改革に取り組んでおり、さらに平成25年度までの計画を新総合計画として継続することになっています。政策の基本として「市民との協働で満足度を高め続ける行政評価システムの構築」を掲げ、行政評価を数値化し年度を決めて目標値を設定し、外部評価を導入しています。陸前高田市は、自立した行財政システムを構築するため、財政運営の健全化だけでなく、効率的な事務執行の確保のため、職員一人ひとりの意欲と総意工夫による更なる向上を図るため、「行政品質向上運動」を実施しています。



文教厚生委員会

期 日 5月12日(火)～14日(木) 視察地 山梨県富士吉田市・静岡県掛川市
調査事項 リサイクル施設・新エネルギー施設について

富士吉田市のごみ処理施設は、ダイオキシン類をはじめとする公害防止に万全を期して建設され、リサイクルプラザの設置、灰溶融炉の導入、余熱による発電など最先端の技術導入を図り、また風力・太陽光発電を行い施設内の電力の一部をまかない、循環型社会の構築に大きな役割を果たす拠点になっています。掛川市は隣接の菊川市と衛生施設組合により「環境資源ギャラリー」と名づけた清掃センターを建設し、「環境と資源に関する生涯学習施設」として4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を推進しています。



建設経済委員会

期 日 5月19日(火)～21日(木) 視察地 岐阜県下呂市・富山県高岡市
調査事項 観光行政・地産地消について

下呂市では、定年退職した地域の仲間が、「土楽倶楽部」として活動を行い、無償で借り受けた休耕田を利用して野菜を栽培し、自前の直売所での販売や学校給食への食材提供により地産地消の取り組みを行っています。また市内で生産される農林畜産物を観光産業と結びつけて市内で拡大できる方法の検討、推進を図っています。高岡市は、団体、個人により「たかおか観光戦略ネットワーク」を設置し、観光振興等の具体的な施策・事業につなげています。また「たかおか地産地消ネットワーク」を設立し、地産地消の啓発やさまざまな形態での地産地消の推進を図っています。



次回の定例会は9月です

平成21年第3回市議会定例会は、次のとおり開催される予定です。

9月4日(金)	本会議 議案上程	9月16日(水)	決算特別委員会
9月7日(月)	本会議 一般質問	9月17日(木)	決算特別委員会
9月8日(火)	本会議 一般質問	9月18日(金)	議会改革検討特別委員会
9月10日(木)	本会議 議案質疑	9月25日(金)	本会議 採決
9月11日(金)	建設経済委員会		
9月14日(月)	文教厚生委員会		
9月15日(火)	総務委員会		

日程等が変更になることがあります。
詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。

傍聴においでください

本会議は一般に公開され、気軽に傍聴ができます。議員の活動や施政の方針・経過など実際に見聞してはいかがですか。本会議の当日、市役所玄関受付で住所・氏名を書いていただき、傍聴券を受け取り、係員の指示に従って傍聴してください。

各委員会の傍聴は、委員長の許可により傍聴できます。

傍聴席の数は、本会議が40席、各委員会が10席程度です。

編集後記

本市では「ゴミ処理問題」や「財政健全化」「議会改革」など議会が取り組まなければならない事が目白押しですが、議会がどこまでこうした課題に真正面から取り組めるかが問われている。そうした中、今回、子供達が一日の大半を過ごす学校施設の耐震化が、更に一歩前進した。学校は、子供達の生活の場だけでなく、災害発生時には緊急の避難場所にもなる地域の防災拠点だ。中国・四川大地震のような惨事を繰り返してはならない。災害に強い街づくりを進める最優先課題として、学校施設の耐震化を一層加速させる必要がある。自治体は人命を守る事業を最優先に取り組まなければならない、なかなかそれが政治に携わる私たちの責任である。

(菊地正芳 記)

議会だより

編集特別委員会

委員長
副委員長
委員

大田 吉舟 菊 鈴木
足森 所川 生地 木
光要 和道 佳正 英
司二 雄隆 紀芳 樹